

発刊にあたって

富士宮市環境白書は、富士宮市環境基本条例に基づき策定された富士宮市環境基本計画の適正な進行管理を図るため、環境の現状や環境施策の実施状況等を公表することを目的として、毎年作成しています。

また、富士宮市環境基本計画は、本市の最上位計画である第5次富士宮市総合計画の将来都市像について、環境面から実現する計画として位置付けられています。

さて、近年は、世界中で様々な異常気象が観測され、猛暑や集中豪雨など、気候変動に伴う災害のリスクが深刻化しています。

こうした状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2度未満とし、1.5度に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されましたが、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要とされています。

富士宮市も国際社会の一員として、地球環境を守り脱炭素社会の実現に貢献するため、令和3年1月13日の市長定例記者会見において「ゼロカーボンシティ」を表明しました。今後、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを市民や事業者の皆様とともにオール富士宮で取り組んでいきたいと思っております。

また、富士宮市では、SDGsの理念を基に、地域課題の解決に向けて、地域資源を産業で活かした持続可能なまちづくりを目指す「地域循環共生圏づくり事業」や市民全体でごみの減量化と資源化に取り組む「ごみダイエットプロジェクト」を引き続き推進しておりますので、皆様の御理解、御協力をよろしく申し上げます。

結びに、本書を通じて、市の環境の現状について理解を深めていただくとともに、今後の市の環境を考える一冊として、市民の皆様のご活動に役立ていただければ幸いです。

令和3年3月

富士宮市長 須藤 秀忠

